

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-92	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183第一	歴総710	高等学校 歴史総合		

1. 編修の基本方針

- 歴史学習の基本となる知識を身につけ、興味・関心をもって学習に取り組めるように配慮した。
 - 学習内容は基本的な事項を中心に精選し、平易で理解しやすい表現を心がけ、理解しにくい内容については注を付して丁寧に解説した。また、枝葉末節にふみこまず、近現代の特色を「近代化」「国際秩序の変化・大衆化」「グローバル化」の3つの変化から理解できるようにした。
 - 本編は見開き完結の紙面構成とし、写真などをダイナミックに掲載することで、学習内容へのイメージをもたせるとともに、生徒が興味・関心をもって学習できるようにした。
- 主体的・対話的で深い学びにつながる学習に配慮した。
 - 本文ページの冒頭に問いを設けることで、生徒に学習の見通しを持たせ、主体的に学習に取り組むことができるようにした。また、本文ページの最後にまとめの問いを設け、学習内容の定着をはかるとともに、より深い理解を促せるようにした。
 - 地図や写真、絵画、風刺画、史料など諸資料を豊富に掲載することで、幅広い知識と教養を身につけさせるとともに、適宜問いを付すことで、生徒が主体性をもって、歴史を多角的に考察できるようにした。
- 多面的・多角的に歴史を学ぶことができるように配慮した。
 - 「テーマ」「モノから学ぶ歴史」「フォーカス」「資料で整理」の4つの特集と、「クローズアップ」、「つながり」、「人物コラム」、「深める」という4種類のコラムを設け、歴史を身近に感じ、現在とのつながりや諸地域のつながり、日本と世界のつながりが実感できるように配慮した。
 - 巻頭に「18世紀以降の世界の概観」、巻末に「用語解説」を設け、同時代の世界各地のつながり、歴史学習で用いられる用語に関する概念的・体系的知識が学べるようにした。
 - 巻頭特集として「コラム 歴史総合への準備」を設け、中学校までの学習との連続性に留意して、前近代の大まかな内容を扱い、歴史総合本来の近現代学習にスムーズに入れるようにした。
- 持続可能な社会の実現と関連づけながら、歴史を理解することができるように配慮した。
 - 「近代化と現代的な諸課題」「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」では、テーマに関連する持続可能な開発目標(SDGs)のロゴを示し、現代の世界が抱える課題と関連づけながら歴史について考察できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 歴史の扉 ①歴史と私たち	近代的な時間規律の歴史的背景を学ぶことを通じて、現代と歴史のつながりや、歴史を学ぶ意味を理解するよう促し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう留意した(第1号)。	p. 24~25
②歴史の特質と資料	日露戦争を題材にさまざまな資料を読みとくことを通じて、歴史叙述のあり方や歴史資料の扱い方を理解させるとともに、歴史についての多角的な考察を促し、真理を求める態度を養えるよう留意した(第1号)。	p. 26~27
探究ハンドブック	探究学習のテーマ設定の方法や、資料収集・調査の進め方、資料の整理・分析の方法、発表の進め方、歴史的な見方・考え方の特徴、さまざまな思考ツールの利用方法などを学ぶことによって、生徒自身による探究活動を促し、真理を求める態度を養えるよう留意した(第1号)。	p. 28~31

<p>第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち</p>	<p>18世紀のアジアの繁栄や、欧米諸国における工業化と国民形成、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化と抵抗、日本の開国と近代化、欧米諸国や日本による帝国主義政策の進展とそれにもなうアジア諸国の変容などについて大観させることで、幅広い知識と教養を身につけられるよう留意した(第1号)。</p> <p>日本がアジアの国々と密接な関係をもちながら歴史を歩んできたことを学ぶことにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう留意した(第5号)。</p> <p>市民革命・産業革命の功罪、国民国家の拡大、アメリカ合衆国における奴隷解放の過程などについて学ぶことにより、自主及び自立の精神を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度、環境の保全に寄与する態度などを養えるよう留意した(第2号・第3号・第4号)。</p> <p>欧米諸国や日本による帝国主義政策の進展を学ぶことにより、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう留意した(第5号)。</p>	<p>p. 32～115</p> <p>p. 34～41</p> <p>p. 42～71</p> <p>p. 72～107</p>
<p>第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p>	<p>第一次世界大戦の経過や、第一次世界大戦後の国際協調の進展、大衆社会の発展、世界恐慌に対する各国の対応、ファシズムや軍国主義の台頭、第二次世界大戦の経過、第二次世界大戦後の新たな国際秩序の形成、敗戦国の戦後改革、日本の独立回復などについて大観させることで、幅広い知識と教養を身につけられるよう留意した(第1号)。</p> <p>第一次世界大戦の惨禍とその後の国際協調の進展、アジア諸国における独立運動や民族運動の高揚、第二次世界大戦後の新たな国際秩序の形成などを学ぶことにより、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう留意した(第5号)。</p> <p>第一次世界大戦後の選挙権の拡大や、世界恐慌から第二次世界大戦にかけての社会統制の強化、日本国憲法制定や平和条約締結の過程などを学ぶことにより、個人の価値を尊重することの重要性を認識し、また正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう留意した(第2号・第3号)。</p>	<p>p. 116～171</p> <p>p. 118～127, 156～157</p> <p>p. 130～131, 134～135, 140～155, 162～165</p>
<p>第2部 近現代の世界と日本 第3章 グローバル化と私たち</p>	<p>第二次世界大戦後の脱植民地化と第三世界の台頭や、冷戦の進展、西側諸国の多極化、日本の高度経済成長、冷戦構造の変容、石油危機、東南アジア・東アジアの経済成長、冷戦の終結とソ連の消滅、地域紛争の拡大とアメリカの動揺、経済のグローバル化の進展、情報通信技術の発展、環境問題への対応などについて大観させることで、幅広い知識と教養を身につけられるよう留意した(第1号)。</p> <p>政治的独立を達成した第三世界の国々の中には、モノカルチャー経済から抜け出せず貧困に苦しんでいる国も多いことを丁寧に記述することにより、現在の国際社会における課題に気づかせ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第5号)。</p> <p>冷戦下に核兵器開発や宇宙開発競争が激化し、全面核戦争の危機さえ生じたことを学ぶことにより、平和で安全な社会の形成に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第3号)。</p> <p>公民権運動や女性解放運動について学ぶことにより、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう留意した(第3号)。</p> <p>日本における公害問題の広まりや、ベトナム戦争時の枯れ葉剤の散布、石油危機とエネルギー問題の関連、環境問題に対する国際的な取り組みの進展などを学ぶことにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう留意した(第4号)。</p> <p>戦後の日本について、平和国家として他国と協調しつつ歩みをす</p>	<p>p. 172～217</p> <p>p. 176～177</p> <p>p. 178～181</p> <p>p. 185, 189, 190</p> <p>p. 185, 186～187, 188, 194～197, 207</p> <p>p. 184～185,</p>

	<p>すめてきたこと，高度経済成長をへて経済大国となったこと，PKOなどを通じて国際貢献を果たしてきたことなどを学ぶことにより，我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第5号)。</p> <p>文化財の保護・継承や，災害の記憶と防災の重要性について学ぶことにより，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した(第5号)。</p>	<p>202～205</p> <p>p. 210～211</p>
--	---	----------------------------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・書体はユニバーサルフォントを用いたほか，図版や地図の作成にあたってはすべての生徒にとって学びやすいカラーユニバーサルデザインに配慮した。
- ・本文では，ページごとに初出の人名は明朝体の太字にし，それ以外の重要語句はゴシック体の太字にした。
- ・広い紙面を有効に活用するため，ページの開きがよく耐久性も高いPUR製本を採用した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-92	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183第一	歴総710	高等学校 歴史総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを促せるようにした。
 - ・本編ページの冒頭に導入の問いかけを設け、生徒が学習の見通しをもてるようにした。また、本編ページの最後にはまとめの問いを設け、生徒自らが学習内容を整理できるようにした。まとめの問いには、社会的事象の歴史的な見方・考え方にかかわるマークを付し、生徒が意識をもって問いを考察できるようにした。
 - ・写真や地図などに適宜問いを設け、学習項目への興味・関心を喚起するとともに、生徒が主体性をもって、歴史を多角的に考察できるようにした。
 - ・第2部第1章、第2章、第3章の冒頭にそれぞれ「近代化への問い」「国際秩序の変化や大衆化への問い」「グローバル化への問い」を設け、生徒自ら問いを表現し、課題意識をもって学習に臨めるようにした。
 - ・第1部末尾の「探究ハンドブック」では、探究活動の進め方や、社会的事象の歴史的な見方・考え方の特徴を紹介し、以後の学習の助けとなるようにした。
 - ・特集ページ「資料で整理」では、文字史料や写真、絵画、風刺画、グラフなどを読みとぎつつ、内容のまとまりごとに歴史を大観できるようにした。
2. 歴史の大きな変化に着目し、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えられるようにした。
 - ・巻頭に18世紀以降の世紀ごとの概観をまとめた特集ページを設け、歴史の大きな変化について時代を追って理解できるようにした。
 - ・綿や茶・砂糖、石油といった具体的なモノや、多地域間のヒトや文化の交流(移動)、交通(船、鉄道)、文化、情報通信などに着目した特集ページを設け、身近な日常生活と関連づけながら、広い視野から歴史を理解できるようにした。
 - ・特集ページ「フォーカス」では、さまざまな概念をもとに広い視野から歴史を理解できるようにした。
 - ・コラム「つながり」では、世界とその中の日本における歴史の展開について、世界と日本の歴史の動きの関連にかかわる題材を積極的に取り上げた。
 - ・本編ページタイトル下に設けた同時代の日本を示した帯で、日本の時代を確認できるようにした。
3. 現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察できるようにした。
 - ・第2部第1章、第2章の末尾に「近代化と現代的な諸課題」「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」を設け、現代的な諸課題の形成にかかわる歴史的な状況を考察できるようにした。
 - ・第2部第3章の末尾に「現代的な諸課題の形成と展望」を設け、現代的な諸課題を理解し、その展望などについて考察、構想できるようにした。
4. 中学校社会科との関連を重視し、生徒の理解を高められるようにした。
 - ・巻頭に設けた「コラム 歴史総合への準備」では、前近代の世界の歴史や、おおまかな日本の歴史をとりあげ、歴史総合で学習する近現代の歴史の前提となる内容を簡潔に理解できるようにした。
5. 地理的条件と歴史の関連を重視し、生徒の地理的理解を高められるようにした。
 - ・巻頭の①②で世界の自然環境を、巻末の⑤⑥で世界の現勢を取り上げ、地理的条件と関連づけながら歴史を学べるようにした。
 - ・本編ページの右端に地域のツメを設け、学習している地域が明確になるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 歴史の扉			
①歴史と私たち	大項目A－中項目(1)	p. 24～25	1
②歴史の特質と資料	大項目A－中項目(2)	p. 26～27	1
第2部 近現代の世界と日本			
第1章 近代化と私たち			
近代化への問い	大項目B－中項目(1)	p. 32～33	1
第1節 18世紀アジアの繁栄			
1 18世紀の東アジアの政治と国際秩序	大項目B－中項目(2)	p. 34～35	1
2 18世紀の東アジアの経済と社会		p. 36～37	1
第2節 産業革命と市民革命			
1 国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易		p. 42～43	1
2 農業社会から工業社会へー産業革命		p. 46～47	1
3 アメリカ独立革命	大項目B－中項目(2)(3)	p. 50～51	1
4 フランス革命		p. 52～53	1
5 イギリスに挑戦したナポレオン		p. 54～55	1
6 大西洋をこえて広がった革命		p. 56～57	1
第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大			
1 イギリスの繁栄		p. 58～59	1
2 後発国による「上からの近代化」	大項目B－中項目(2)(3)	p. 62～63	1
3 ロシアの近代化と南下政策		p. 64～65	1
4 アメリカ合衆国の膨張		p. 66～67	1
第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国			
1 オスマン帝国の衰退と西アジア		p. 72～73	1
2 南アジアと東南アジアの植民地化		p. 74～75	1
3 東アジアの動揺	大項目B－中項目(2)(3)	p. 76～77	1
4 東アジアの情勢と改革		p. 80～81	1
5 明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序		p. 86～87	1
6 日本の立憲国家への道のり		p. 90～91	1
第5節 帝国主義の発展			
1 帝国主義の時代		p. 92～93	1
2 列強の世界政策		p. 94～95	1
3 日清戦争と中国分割	大項目B－中項目(2)(3)	p. 96～97	1
4 日露戦争とアジア		p. 98～99	1
5 日本の工業化と社会運動の高揚		p. 102～103	1
6 日本の帝国主義と東アジア		p. 106～107	1
近代化と現代的な諸課題	大項目B－中項目(4)	p. 112～115	2

第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち			
国際秩序の変化や大衆化への問い	大項目C－中項目(1)	p. 116～117	1
第1節 第一次世界大戦と大衆社会	大項目C－中項目(2)		
1 第一次世界大戦		p. 118～119	1
2 ロシア革命とソ連の成立		p. 120～121	1
3 ヴェルサイユ＝ワシントン体制		p. 122～123	1
4 アジア諸国の独立運動		p. 124～125	1
5 東アジアの民族運動と日本		p. 126～127	1
6 アメリカの大衆社会		p. 130～131	1
7 大正デモクラシーと日本社会の変化	p. 134～135	1	
第2節 経済危機と第二次世界大戦	大項目C－中項目(3)		
1 世界恐慌		p. 140～141	1
2 ファシズム・軍部の台頭		p. 142～143	1
3 ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化		p. 144～145	1
4 日中戦争の開始と戦時体制下の日本		p. 148～149	1
5 第二次世界大戦の開始		p. 150～151	1
6 第二次世界大戦の終結	p. 152～153	1	
第3節 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	大項目C－中項目(3)		
1 国際連合と国際経済体制		p. 156～157	1
2 冷戦の開始とアジアへの波及		p. 158～159	1
3 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定		p. 162～163	1
4 平和条約と日本の独立回復	p. 164～165	1	
国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	大項目C－中項目(4)	p. 168～171	2
第3章 グローバル化と私たち			
グローバル化への問い	大項目D－中項目(1)		1
第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	大項目D－中項目(2)		
1 アジア諸国の独立と中東戦争		p. 174～175	1
2 アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭		p. 176～177	1
3 核戦争の危機から核軍縮へ		p. 178～179	1
4 西側諸国の多極化と日本の動向		p. 182～183	1
5 日本の高度経済成長とアジアとの関係回復		p. 184～185	1
6 米中の動揺とベトナム戦争	p. 188～189	1	
第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界	大項目D－中項目(3)		
1 石油危機とイスラーム復興		p. 194～195	1
2 東南アジア・東アジアの経済成長		p. 198～199	1
3 冷戦の終結とソ連の解体		p. 200～201	1
4 地域紛争の頻発とアメリカの動揺	p. 202～203	1	

5 グローバル化と地域統合の動き		p. 204～205	1
6 情報通信技術の発展と環境問題への対応		p. 206～207	1
現代的な諸課題の形成と展望	大項目D－中項目(4)	p. 214～217	2
		計	64